

新型コロナ特別委、新たな提言づくりに向け意見交換

新型コロナウイルス感染症が再び広がりを見せているなかで、上越市議会新型コロナ対策特別委員会は25日、勉強会を開き、経済部会、医療福祉部会、教育部会の3部会からそれぞれの検討結果を出し合い、新たな提言づくりに向けての意見交換をしました。

その中では、「身近な人が感染すると緊急性がこれだけ変化

してくるものなのか。長引けば、上越特有の問題が出てくるのでは」「これまで取り組んできた市独自の補助金などの執行率が低い。周知、設計、ニーズなどで分析する必要がある」「市民のいまの声をとりあげていくことが重要だ」「一度、理事者側を入れた会議を持ち、その後、まとめていったらどうか」などの意見が出ました。

各部会がまとめた内容は、これから委員会全体で詰めていく必要がありますが、市内事業者への支援を継続する、PCR検査については、医療・介護従事者、運輸関係労働者などに広げていくなど注目すべきものも少なくありません。新年度予算編成も山場を迎えていますので、早めに丁寧な検討をし、提言につなげてほしいものです。



12月議会が始まります！

12月議会審議日程 (いずれも開始時間は午前10時から)

日	会議名	場所	備考
11月30日 (月)	本会議	議場	提案理由の説明 総括質疑ほか
12月 1日 (火)	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
12月 2日 (水)	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
12月 3日 (木)	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
12月 4日 (金)	総務委員会	第1委員会室	橋爪担当
12月 7日 (月)	一般質問	議場	
12月 8日 (火)	一般質問	議場	
12月 9日 (水)	一般質問	議場	
12月10日 (木)	一般質問	議場	
12月14日 (月)	本会議	議場	議案の採決ほか

懐かしさいっぱいの「あの頃の青春コンサート」、今年も

「あの頃の青春コンサート」が23日、オーレンプラザで開催されました。今回は14回目、13組の皆さんが「ハーモニカ吹きの男」「とんぼ」「乾杯」など懐かしい歌を歌ってくれました。歌い手は歌に想いを込めて全力集中、「面白さ

の中に真実や悲しさがある」(司会者)ものやこの上越の良さを浮き彫りにしてくれたものもありました。このコンサートは今後、地域づくりにつながっていくかも知れません。全体的に素敵なコンサートでしたね。



【ノグシ】(再掲) キク科の1年草、2年草、または多年草です。漢字で「野芥子」と書きます。花期は春から秋まで、いま、野道や畑で黄色の花を咲かせています。花茎の先に黒っぽい紫色の花をつけます。白い花もあるということですが、まだ出合えません。花言葉は「憎まれっ子世にはばかる」「旅人」。写真は11月25日午前、吉川区大乗寺にて撮影。



はしづめ法一の活動レポート

No.1987 2020.11.29

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見たある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第六三四回

六十数年ぶりの訪問

元教員の古澤さんが六十数年前に泊めてもらった家にお礼の言葉を述べに行くという当日のことです。

朝九時過ぎに電話をすると古澤さんは、「数日前からわくわくしてたんですよ」と言われました。六十数年前にお世話になりながらお礼をしないでいた家に行く、それが古澤さんにとってどんなに重要なことだったのか、そのひと言でわかりました。

古澤さんが泊めてもらったという家については、バス停から坂道を歩いたということとヒントに、その家の九八歳のMさんに確かめてありました。それでも、間違いがないかちよっぴり不安もありました。

午後一時二〇分。頸北観光バスの山直海線、村屋のバス停で古澤さんと合流した私は、一緒にMさん宅の木戸先の坂道を歩きはじめました。坂の途中で古澤さんは、「間違いありません、このお宅です。屋根の大きな、りっぱなお家でした」と言われました。古澤さんは玄関の近くに行っても、すぐには入られませんでした。家の周りの景色を見て、確かめ、思い出されたことがあったのでしよう。

玄関に入ってから、古澤さんはすぐNさんやお連れ合いのTさん、そしてMさんと挨拶をされました。少し緊張した雰囲気が出ていて、私自身も無意識のうちに気が持ちが引き締まりました。

私たちが案内された応接間は仏間の隣にあります。近世に描かれた墨絵や書が置かれていて、しだれ桜をイメージして作成された奥田広美さんの「押し花」作品も飾ってありました。

応接間に入った古澤さんは持参された品をMさんに出されました。まず縦三〇センチ、横二五センチほどの大きさの箱をひとつ。中身は内緒です。そして、びっくりましたね、古澤さんはこの日のために、手づくり

のソックスカバー、さらに筆で書かれた手紙まで用意されていたのです。

プレセントを出した後、古澤さんは、前庭に近い廊下を見て、「この廊下、覚えています」と言われました。六十数年前のことでも、同じ空間に立てば、人間の記憶は一つひとつ呼び戻されるのでしようね。

さて、この日を待っていたのは古澤さんだけではありませんでした。Mさん一家もまた、楽しみにしておられたのです。特にMさんは、栗の渋皮煮を用意してくださいました。私も二個いただきましたが、甘くて、高級感のある食べ物でした。

お茶をいただく時、テーブルの上に縦長の小さな写真が出されました。Nさんたちが半日かけて探し出してくださったというMさんのお連れ合い、シユウイチさん（故人）の写真です。古澤さんは、「この方です、声をかけてくださったのは。間違いありません」と言われました。

写真の中でシユウイチさんが着ていたのは礼服です。「写真は祝言のときみたいですね」と言うと、Mさんはニコニコしながら「皿踊りが得意だったんです」と言われました。写真をじっくり見ていたら、シユウイチさんが皿を持ち、カシヤ、カシヤと踊る様子が目に浮かびました。

六十数年前に古澤さんが泊めていただいたという日。Mさんは蒲川原区小谷島の実家へ行って留守だったということでした。ですから、シユウイチさんの母親のRさんが夜と朝の食事の用意をされたようです。Mさんは古澤さんが泊まったことを後日、シユウイチさんから聞いたということもわかりました。

六十数年ぶりの訪問。話は弾みました。古澤さんに「わが家に泊まって」と勧めたシユウイチさんは当時三十代後半で、川谷と源の中学校で英語と数学を教えていたか。話はなかなか尽きませんでした。

コウノトリ、今年3度目の飛来

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における 空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。
消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	11月18日(水)	11月25日(水)
上越南消防署	0.047	0.050
上越北消防署	0.043	0.050
新井消防署	0.047	0.047
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.067	0.060
東頸消防署	0.047	0.057
名立分遣所	0.053	0.057
高士分遣所	0.053	0.050

コウノトリはよほど上越市が気に入ったようです。昨年の8月に続いて今年も8月に吉川区にやってきましたが、その後、10月20日に柿崎区角取周辺に飛来し、今月20日頃には大潟区の朝日池周辺にもやってきました。

写真は今月21日に私が撮影したものです。今回は吉川区のOさんから教えてもらい、朝日池の中で羽づくろいしている様子や田んぼの中を歩いているところを撮ることが出来ました。この調子だと来年もやってくるでしょう。



押し花展

今年も吉川コミプラで奥田押し花教室押し花展が開催されました。「退職記念に植えた桜の木が気に入っている」「月下美人が10年ぶりに咲いた」など作品への想いを書いたメッセージ付きのものもありました。毎回楽しみです。